


担当者教育

－ デファクト・スタンダードを目指して －

平成14年度総合目録データベース実務研修

＜演習課題：担当者教育＞渡邊・西野・千葉・北山

問題意識



職場内での教育時間

経験蓄積・実務経験の機会

環境の変化

目録担当者の能力低下への危機感

担当者教育の実態

教育が行き届かない現状

継続的な学習ができない

方法論が必要

現場の人的状況

時間をかけずに効果をあげる必要

担当者教育の目的

総合目録データベースの品質維持

知識と技術の習得

現状と問題点

目録システム講習会

参加機会の問題

実務に活かされないケース

現状と問題点

NII(目録担当者のページ)

現在の目録業務従事者が対象

内容は本当に現場の声を反映しているのか？

現状と問題点

目録規則

実務経験なしに理解可能なのか？

現場で用いる場合のテキストとしては疑問

現状と問題点



各機関が作成した業務マニュアル

当該機関でしか利用できない

現状と問題点

メーリングリスト

アカウントを持たない職員は利用できない

経験者のコミュニティとなっている

情報の蓄積ができない

現状と問題点

先輩職員からの助言

人事上の問題により周囲に環境がなくなりつつある

何が必要なのか

「習得すべき知識」の周知

品質維持に対する意識の温度差の解消

標準的な業務マニュアルのモデル提示

散逸した知識・経験の集約

教育機会増加の工夫

学習モデルの提案

目録業務学習のためのツール

目録担当者の学習項目

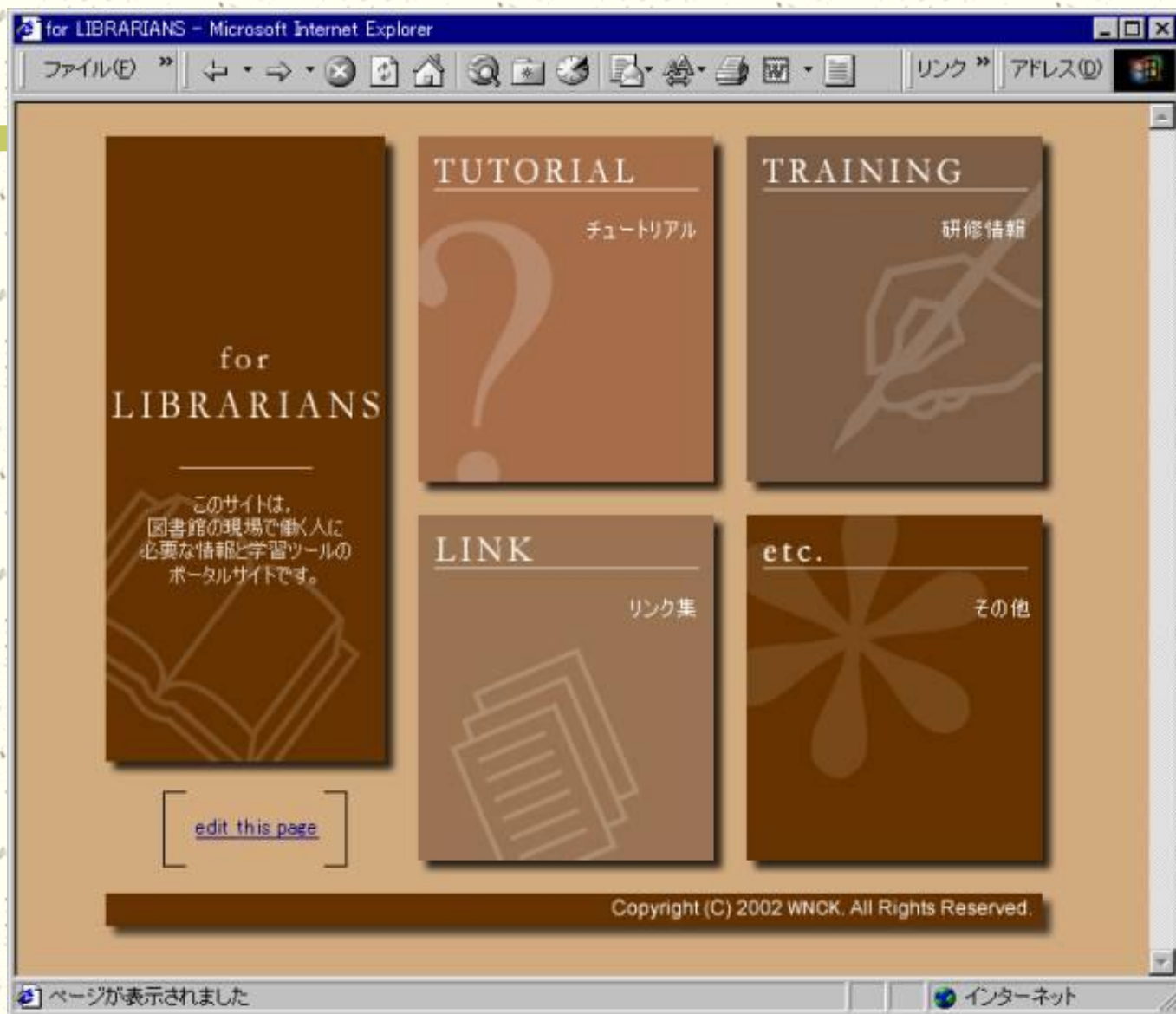
必要な学習項目の分析

学習支援ツール

必要とされる要件

- ◆ 入門者でも使えるものであること
- ◆ トレーニングが行えること
- ◆ 情報の鮮度が保たれていること
- ◆ 参加型であること

ポータルサイト



チュートリアル

for LIBRARIANS

TRAINING LINK etc.

チュートリアル

TUTORIAL

- 学習ツール
- 確認テスト
- 基本文献
- その他

Copyright (C) 2002 WNCK. All Rights Reserved.

ページが表示されました

インターネット

何が実現できるのか？

知識・経験の散逸を補完

必要な学習項目を現在進行的に更新

意識の向上

運用のための要件

従来型との差別化

利用から参加へ

誰もが追加・更新できるシステム

予測される課題

参加者の規模がカギ

特に経験豊富な人がどれだけ参加するか

誰もが知っていることが必要

広報の手段

ツールとしての限界

学習方法の標準モデル

目録業務の円滑な運用

各人の継続的な学習の必要

それを支援する標準的な学習モデル

**担当者教育の
デファクト・スタンダードに**